

広がる先住民族の闘いと深まる先住権思想①

疫病・征服・植民で先住民衰退

▼堀込純一

歴史を軽視する者は、先住民を物語などで想起するだけであって、侵略者による迫害と衰滅をするだけである。だが、既成事実として承認するだけである。

世界では第二次世界大戦後、とくに1960年代頃から、歴史の片隅に追いやられたとみられた先住民の根源的な鬱いと先住権思想の普及が広まり

I アメリカ先住民の衰滅化と1960年代からの復権運動

コロンブス(1451年)、ヴァスコ・ダ・ガマ(1469頃)、1524年)、マゼラン(1480頃)、1521年)らにより、ヨーロッパから南北アメリカ、アジアなどへの航路が切り開かれ、スペイン・ポルトガル・オランダ・イギリス・フランスなどの植民地主義・膨張主義が進展する。いわゆる「大航海時代」である。

キリスト教徒が自らの植民地主義を正当化する論拠は、教皇のお墨付き、「発見優先の原則」、先占の法理などとして発展する。¹⁾

(1) 北アメリカの植民地時代

スペイン人はさらに富を求めて、1539年、2つのコンキスタドール遠征隊を北米にも送り出した。1隊は、キューバからエルナンド・デ・ソトが率いて、フロリダからミシシッピ川下流方面に進んだ。もう1隊は、メキシコからシスコ・バスケス・デ・コロナードが率いて、アメリカ南部へ入つて継続し、グレート・プレー

ンの侵略である。スペイン人たちは、先住民を武力で制圧し、領土を拡大し、金銀を略奪し、インディオのキリスト教化を図った。コンキスタドールたちは1500年から1650年までの間に、メキシコやペルーから金181ト

ル)の侵略である。スペイン人たちは、先住民を武力で制圧し、領土を拡大し、金銀を略奪し、インディオのキリスト教化を図った。コンキスタドールたちは1500年から1650年までの間に、メキシコやペルーから金181ト

出し、先住民の復権が各地で噴出している。以下は、そのいくつかの紹介と、発展する先住権思想の確認である。

もにメキシコへ撤退した。スペイン人は1560年代、フロリダを植民地化し、16世紀末には、ニューメキシコ(サンタフェを中心)、アリゾナ地方に入植した。しかし、スペイン人の入植者は少なくニュー・メキシコでは17世紀に

1670年代は旱魃が長く続き、アエブロ族は飢餓に直面した。しかし、スペインは從来通り

の量のトウモロコシと毛布を取り立てた。アエブロ族はついに1680年8月に蜂起し、植民者

1000人の2割を殺害され、総督と植民者をサンタフェから撃退させた。

しかし、反乱の勝利後

ふたたびアエブロどうしの確執が再燃し、さらに交易の断絶によりアバチ族の攻撃をもたらし

1660年代と帝國に再度編入された。

易するようになった。そ

して、「北方の毛皮交易を支配するための同盟を

組んで上ることによつ

て、モンタニ、アルゴ

ニョニショニ五部族(ア

イ・ネイシュオンズ。

「イロクオイ」としても知られる)を排除した。

改革の第二は、植民地に本同様の自由を与えることである。住民

の生存者は主に女性や子供だが、西インド諸島へ奴隸として売りとばされた。

東から順に、モホーク、オナイダ、オノンダガ、カユガ、セネカである。

1609年6月、ケベックを建設したサミニエル・ド・シャンブランと9人の兵士は、同盟相手の先住民戦士団に加わり、シャンブラン湖に面したホデノショニ(イロクオイ族)の野営地を攻撃している。この戦いで敗北を契機に、ホデノショニの戦士は伝統的な戦闘方法を放棄し、火器を使つたグリラ的攻撃に転換した。ホデノショニは1640年まで敵よりも優位に立ち、ヒューロン族などを攻撃した。しかし、上流地帯の先住民たちは、フランス人から武器を手に入れ、1680年代、1690年代になると、ホデノショニに反撃し勝利している。

1630年3月に同

改革の第三は、経済発展のために入植者を大勢送り込んで、タバコ以外の生産も発展させる構想である。しかし、これは失敗した。入植者は栽培が容易で利益があがるタバコ栽培に集中したから

「ニュー・イングラン

ド」のマサチューセッツ植民地は、厳密に言うと、マサチューセッツ湾

植民地とプリマス植民地からなる(1691年に

後者は前者に併合され

た)、「ニュー・イングラン

ド」では、宗教上

の異見に対し、極めて不

寛容でいくつものタウン

が分裂した。しかし、全

体的には白人移住者が

アーミッシュ(ドットツ

ン)や長老派のスコット

ランド系アイルランド人

なども到來した。

ペニンはまた、先住民と

者たちに、あえて抵抗す

る道を選んだ。そのため

に、ある夜、白人の小部

隊はピクウォットの根

拠地を包囲し、村落を焼

き払つた。この攻撃に

の損失しか出さなかつた。」(W.T.ヘーガン

著『アメリカ・インディ

アン史』第3版 北大

図書刊行会 第1版は

1983年 P.21)と

ヨーロッパでは領主に對

して納められたが、メリカでは土地所有一般に課せられた特許状をえた

ことにより、ヴァージニアのジェームズタウンに

北アメリカ最初の植民地を建設した。ヴァージニア植民地は、アメリカ南部を代表する植民地であり、かつ永続的に存続した。

アエブロ族は、アメリカ南部を代表する植民地であり、かつ永続的に存続した。

アエブロ族は、アメリカ南部を代表する植民地であり、かつ永続的に存続した。